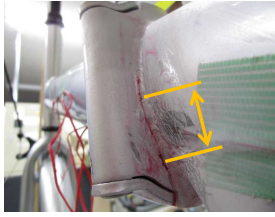
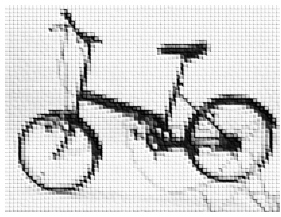


公道走行を再現した振動試験による折り畳み自転車の破損状況



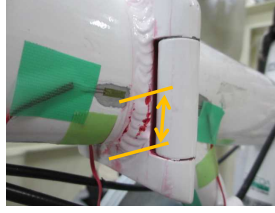
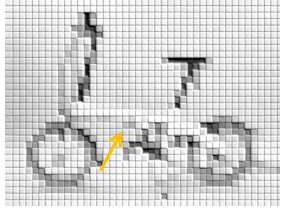
破損した加振回数

10万4千回

破損部位



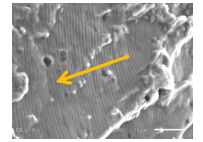
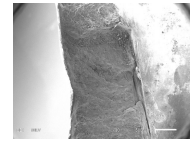
- ①折り畳み金具のヒンジ側 ②斜め下方にき裂が発生
③前ホーク肩の後ろ側



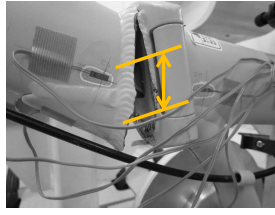
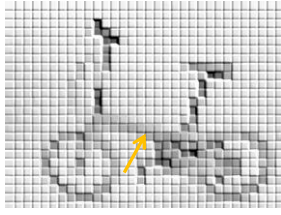
破損した加振回数

1万7千回

破損部位



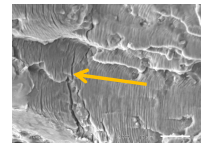
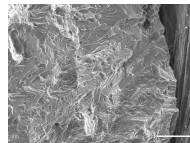
- ①折り畳み金具のヒンジ側 ②斜め下方にき裂が発生



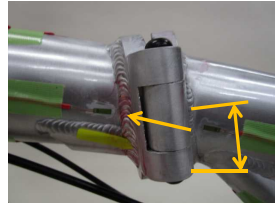
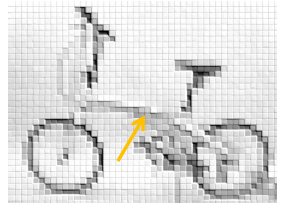
破損した加振回数

2万5千回

破損部位



- ①折り畳み金具のヒンジ側 ②斜め下方にき裂が発生



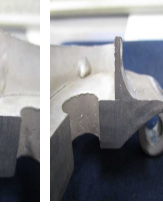
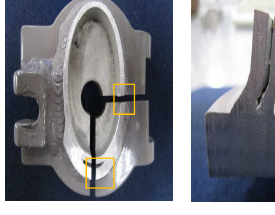
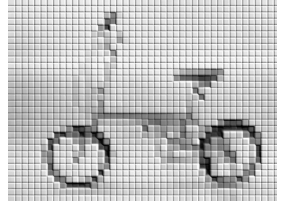
破損した加振回数

17万回

破損部位

□ き裂は、髪の毛のように細い

- ①折り畳み金具のヒンジ側 ②斜め下方にき裂が発生



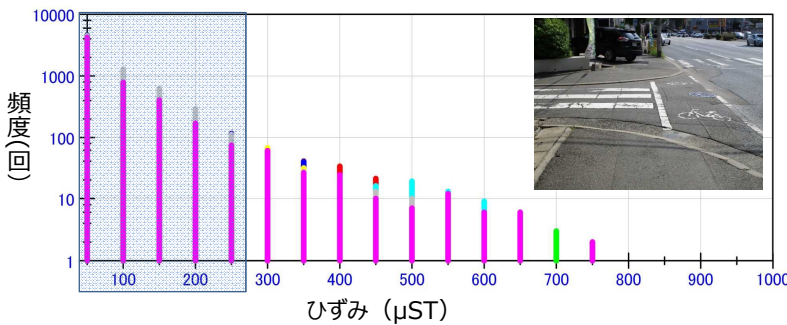
破損なし

28万回破損なし

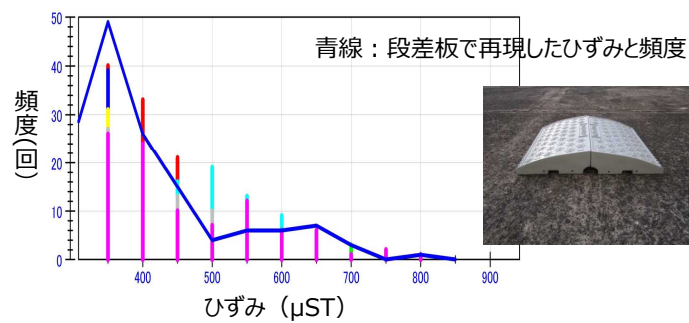
- き裂発生か所は、金具のヒンジ側で、斜め下方からき裂が発生する。
- き裂の進展方向は、板厚方向で、内側から外側方向へき裂が進展する。
- 溶接金属と母材に隙間が認められる製品があり、疲労寿命に溶接状態が影響している。

公道走行を想定した試験用路面について

8か所の公道を10分間走行したときのひずみの大きさと頻度分布



ひずみが大きい範囲



- ◆歩道などの公道を走行する自転車は、段差から受ける衝撃の回数、ひずみの大きさに一定の傾向がみられた。
- ◆事故の再現試験において、被害者が走行していた道路ではなくても試験結果に妥当性が与えられる。